

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

○農作業機械庫の建設による農業機械の点検整備の向上

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 ^{えさしくんえさしちよう} 枝幸郡 ^{えさしちく} 枝幸町 枝幸地区			
協定面積 5,303.2ha	田	畑	草地（100%） 牧草	採草放牧地
交付金額 7,955万円	個人配分			64%
	共同取組活動 （36%）	集落の管理体制に係る経費 農業生産活動等 農業生産活動等の体制整備 積立金及び繰越金 その他（事務委託費及び会議費ほか）		1% 1% 14% 11% 9%
協定参加者	農業者76人、農業生産法人6件、非農業者1件			開始：平成12年度
人農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

高齢化による慢性的な労働力不足や規模拡大に伴う労働力不足に対応するため、第2期対策から、農作業受託組織の設立に取り組んできました。第3期対策が始まり、念願の農作業受託組織が設立・法人化され、中山間地域等直接支払交付金により購入したトラクターや自走式ハーベスター等の農作業機械を使用し作業を行ってきましたが、新たに点検・修理・保管する施設が必要となりました。

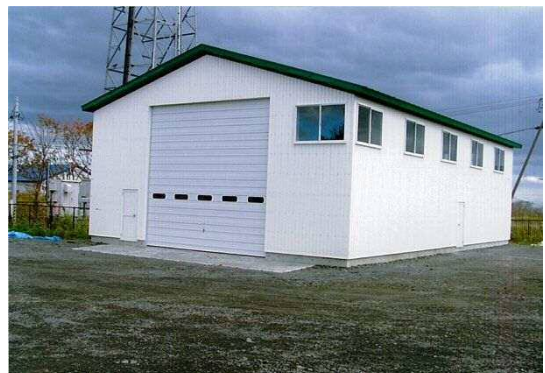
3. 取組の内容

第3期対策初年度から農作業機械庫建設のために積立を行い、平成24年度に点検作業場および機械庫として使用できる施設を建設し、主に大型のトラクターや自走式ハーベスターを保管し、点検や修理が行えることになりました。

これにより、交付金を活用して導入した農作業機械を風雪害等から守ることができています。



【枝幸地区の風景（公共牧場）】



【農作業機械庫】

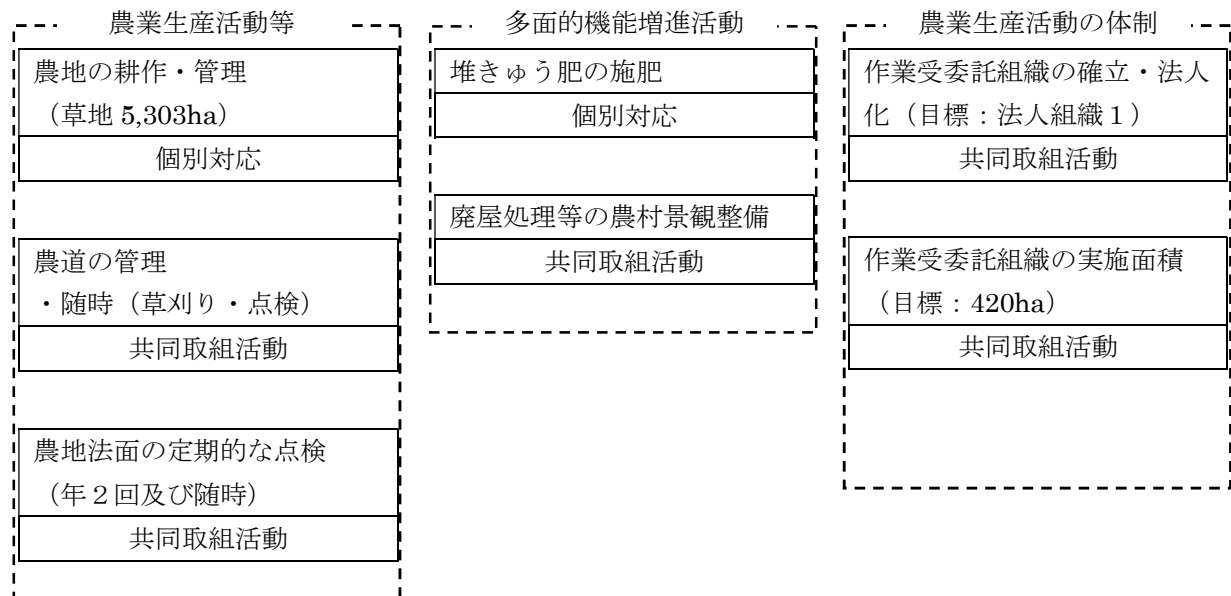
【集落の将来像】

- 北海道北部に位置し、傾斜地が多く寒さが厳しい条件不利地域であるが、農業生産活動を通じ、国土の保全、良好な景観形成等、多面的機能を発揮している。担い手の高齢化、後継者不足による耕作放棄地の発生が懸念されているが、中山間地域等直接支払制度等の支援により、農業生産活動の不利を解消し、地域の経済活動、生活環境改善に寄与し、多面的機能の維持増進を図る。



【将来像を実現するための活動目標】

- 協定農用地の拡大
(現況：4,896.0ha 目標：5,303.3ha)
- 機械・農作業の共同化等営農組織の育成
(現況：任意組織 1、利用面積 270ha 目標：法人組織 1、利用面積 420ha)
- 農業生産活動の維持継続のための担い手育成
(認定農業者の育成：目標 3 名増加、新規就農者の確保：目標 1 名増加)



4. 今後の課題等

当地区は、粗飼料の収穫をロールバールにしている農家が多く、作業に時間を要しています。

そのため、複数の農家からの作業委託があった場合、機械が不足しているため要望に応えられません。今後は、多くの要望に応えられるようさらに農作業機械を導入し、労働力不足の解消に努めていきたいと考えています。

【第 2 期対策の主な成果】

第 2 期対策では、「担い手の育成」「農作業受委託組織の確立」「育成牛の預託システムの確立」について主に取り組んだ結果、担い手研修センターの設立、町営牧場の通年預託に向けた整備が始まりました(平成 25 年度供用開始)。また、第 3 期対策に課題を引き継いだ結果、農作業受委託組織の設立、法人化することが出来ました。